

# 緑のセンターだより

NO. 180 平成 26 年 3 月 1 日発行

発行元：(公財) 札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

フナ

ブナ科 ブナ属 *Fagus crenata* Blume

ブナはブナ科 (Fagaceae) ブナ属 (*Fagus*) の落葉高木です。ブナ科の植物は 6 属約 600 種が世界の温帯から亜熱帯に分布しており、ブナ属は北半球の温帯に約 10 種があります。

ブナの幹は直立してそびえ、大きいものでは高さ 30m、直径 1.7m にもなります。樹皮は平滑、灰白色ですが地衣類がついて斑紋になっているものが多く見られます。葉は単葉で互生し、鈍鋸歯縁で羽状脈があります。花は単性で雌雄同株、若枝に腋生します。実は総苞に包まれ、断面が三角のドングリのような実が 2 個入っています。実の形がソバに似ていることからソバグリの別名があります。ブナの属名 *Fagus* は“食べる”の意で、果実は古代から人々の食料や野生生物の重要な餌となる他、ヨーロッパでは家畜の餌としても利用されていたようです。その材は建築材、合板、パルプの他、工芸品など多くの用途に用いられていますが、残念ながら西日本の多くのブナ林は戦後の復興と経済優先の開発に伴い伐採され、スギ、ヒノキの林になっているのが実情です。しかし、ブナは木材として利用するよりもブナ林としてその豊かな生態系を維持することの方が遙かに重要と思います。

ブナ林とはブナを主体（優占種）とした林のことで、ミズナラ、ホウノキ、カエデ類、ハンノキ、クルミなどの多種多様な落葉樹自然林の総称です。年平均気温が 6°C～13°C の冷涼な地域で、年間降水量が 1200～1300mm 以上の地域に広がっており、積雪地帯の日本海側のブナ・チシマザサ群団と、夏に雨の多い太平洋側山地のブナ・スズタケ群団とに大きく分けられます。これらの豊かな植生は、多くの昆虫や小動物を育み、さらにツキノワグマ、鹿、キツネ、タヌキなどの楽園となっていました。また、数千年の落葉の堆積によってできた林床は、天然のダムとして人工のダムよりも多くの水を蓄え、「大きなブナの木が 1 本あれば田んぼ 1 枚がまかなえる」と言われているそうです。さらに、洪水、渇水を防ぎ、やがて清流となって海に注いで沿岸の豊かな漁場を作り出していました。このブナ林の豊かな恵みを受けて採取や狩猟など、農耕以外で生計を立ててきた工芸職人、炭焼き、マタギなどは、自然への感謝と畏敬の念を持って、固有のブナ林文化を形成してきました。

ブナの自生地の北限は、黒松内低地帯（長万部、黒松内、寿都を結ぶ地帯）で、この地区は昭和 3 年 10 月に天然記念物に指定されました。南限は鹿児島県高隈山に至ります。世界最大級のブナの原生林が、秋田県と青森県にまたがる白神山地に残されており、1993 年に世界自然遺産に登録されました。これらのブナ林は先人達のひとかたならぬ努力によって守られてきたものです。

日本のブナ属には、イヌブナ (*F. japonica*) があります。イヌブナは本州、四国、九州の山地でブナよりやや標高の低い暖地に分布しています。ヨーロッパブナ (*F. sylvatica*) は、ヨーロッパに広く分布し、園芸品種も多く、庭園樹としても広く利用されています。北大植物園には、銅葉色のムラサキセイヨウブナの他、各種のブナがあります。

(T. K)

〈参考文献〉「園芸植物大事典」小学館、「樹木図譜」有明書房、「滅びゆく森・ブナ」思索社



# 3月の園芸作業

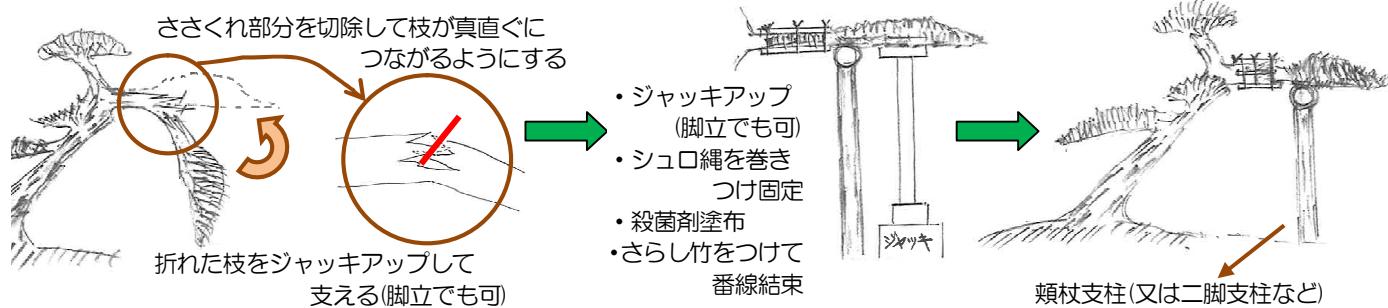
このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。  
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、  
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付 10:00~12:00、13:00~16:00  
☆豊平公園 811-9370 月曜以外毎日  
(月祝日の場合は受付し、翌平日休み)  
※ 平岡樹芸センター・百合が原公園は  
冬期間相談受付しておりません。

## ◆雪害による樹木の応急処置

春も近づき庭の樹木も水揚げが始まっている事でしょう。また、積雪の重さのために枝折れ、枝の裂傷の被害についても心配するところです。過去に実際にアカマツの枝が、雪害により1番大事な枝が中間で1/3を残して裂傷し、養生・回復した事例に基づいて、処置の方法を説明します。

最初に、癒合させたい裂けた枝のさくくれたっている部分の纖維質を、馴染むように綺麗に削り取ります。次に、ジャッキでぶら下がっている枝を下から傷口がふさがるように押し上げ、同時にシュロ繩で隙間なく巻きつけ、その上から殺菌剤を塗布します。



さらに、その周囲に晒竹（太い物4つ割位）を添え、ナマシ番線（針金の焼き直したもの）で数箇所止めます。支柱は頬杖仕様（T字型）が良く、枝が振れなければ別な支柱でも良いでしょう。後に樹木本体よりヤニがにじみ出て傷口がふさがり癒合されます。裂けた太さにもよりますが2~3年はかかります。シュロ繩の巻き込みと食い込みに日ごろから注意し、見つけたらシュロ繩を巻きなおしましょう。

※クロマツ、ゴヨウマツ、バンクスマツ（自らヤニを出す樹木）等はアカマツの方法に準じます。

## ◆シンビジウムの植え替え（鉢増し・鉢緩め）、株分け

作業する時期は3月、遅くとも4月末までに終るようになります。5~6月ではリード（新芽）が伸び過ぎているので、根をいじられると成長を止めることになってしまいます。

新しく購入した鉢や根が一杯に盛り上がっている鉢は植え替えをしましょう。変える鉢は2回り（2号）大きい黒か紺の洋ラン用プラスチック鉢を使用します。

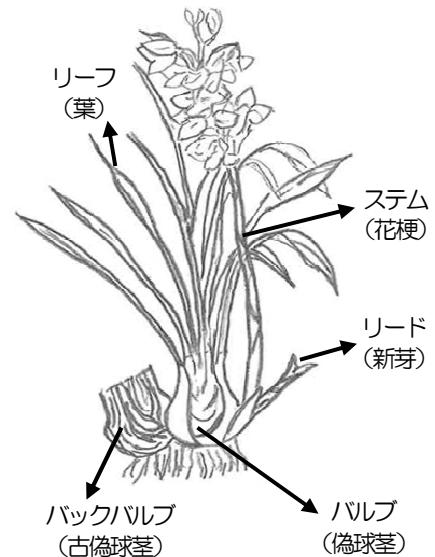
また、バルブ（偽球茎）が多数植えて、根が一杯に盛り上がっている鉢は株分けし、それぞれややきつめの黒か紺の洋ラン用プラスチック鉢に植えます。1個のバルブ（偽球茎）には、バックバルブ（古偽球茎）、リード（新芽）が繋がっており、これで1バルブと考えます。株を分けた時、1鉢あたり2~3バルブが理想的です。

いずれも鉢から抜く作業の時は、木槌などで鉢の縁をたたき、外します。古い土や腐った根などを取り除き、次に鉢底にゴロ土を入れ、

ネオソフロン（バーク）M 6~7 : パミス（火山礫）M 4~3

の割合で混ぜた用土で植え付けます。根の間に隙間がないよう突き棒を使って入れ込みます。

株分けをする際は刃物（包丁等）を使いますが、使用前に植え替え資材用の消毒薬に浸し、殺菌してから行います。これは、罹病株に触れた刃物を使うと正常な株に病気が移ることを防ぐためです。バ



ルブの別れやすい所から根に刃物を入れ、株を切り分けた後に根の切り口を植物用の殺菌剤で消毒し、植え付けます。

## 植替え・株分け後の管理

室内では15°C以上で、日の当たる場所に置きます。水やりは2~3日に1回。液肥は6月頃から7~10日おきに与えます。

最低温度が15°C以上になったら戸外で管理します。寒さには比較的強いですが、晩霜にあてないよう注意しましょう。曇天の日から出し、1週間くらい馴らして、葉焼けの心配が無くなつてから直射日光にあてます。また、伸びてきた葉をまとめて縛ると、受光量が減って、光合成量が少なくなつてしまうので注意しましょう。

置肥は4~7月に行い、発酵油粕や有機質肥料を毎月交換します。そのほか、液体肥料(6-10-5など)を1000倍に薄めたものを週1回与えます。8月の後半から入室まではPK液肥(0-6-4など)の1500倍液を時々与えます。3月ごろからリード(新芽)が伸びてきますが、余分なリードをかき取る「芽かき」をしましょう。

## ◆札幌中心部の冬の気温の推移

(札幌管区気象台データから)

近年、ヤツデ、ツバキなど、今までなら札幌では冬越しできない庭木の手入れの相談が増え、また、庭植えの柿の実で干し柿を作った人もいます。札幌の冬の気温を調べ、植物の冬越しの可能性を探りましたので庭に植える植物の参考にして下さい。

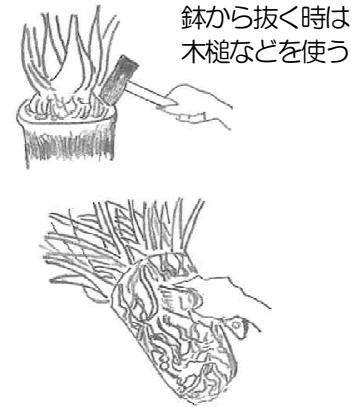
図1: 明治19年~平成25年の気温を見ますと日最高気温年平均は130年弱の間に1°Cほど上昇でした。一方、日最低気温年平均は5°Cほど上昇し、札幌の最低気温が上昇していることがわかります。

図2: 50年前の10年間と近年の10年間を比べると、マイナス10°C以下の日数は50年前の10年間は年に30日弱ほどありましたが、ここ10年間では10日前後しかありません。近年、札幌では極寒のマイナス15°C以下の気温はありません。

図3: 札幌・江別・伊達の昭和53~平成24年の年最低気温を比べてみると、札幌は伊達と同じような、だいたいマイナス10~15°Cで推移し、近隣の江別はマイナス20~25°Cで推移し、札幌は近隣市町村より10°Cほど高い環境になっています。

札幌の中心部・住宅密集地域は伊達と同じような庭木を植えても冬越しのできる可能性があり、庭木の選択の幅が拡がっています。

ただし、冬枯れになるか、ならないかの微妙な温度条件は、隣家と風道の違いなどで、少しの違いで枯れたり、枯れなかつたりします。



ピストロンで消毒した刃物  
(包丁など)で切り分け、  
切り口に殺菌剤を塗布する

図1 日・最高・最低気温年平均明治19年~平成25年

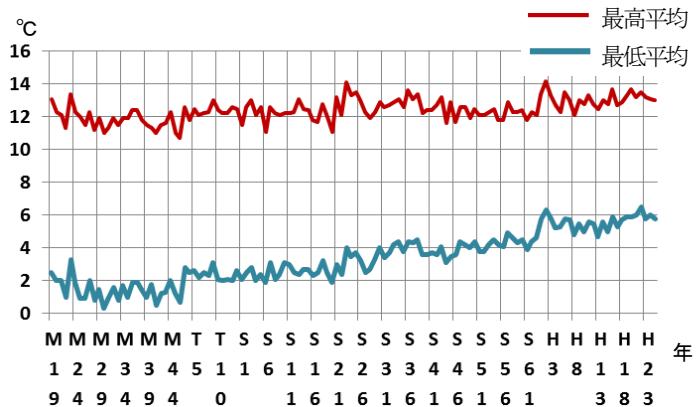


図2 12月~3月の-10°C以下の低温日数  
昭和28~昭和37年・平成15~平成24年比較

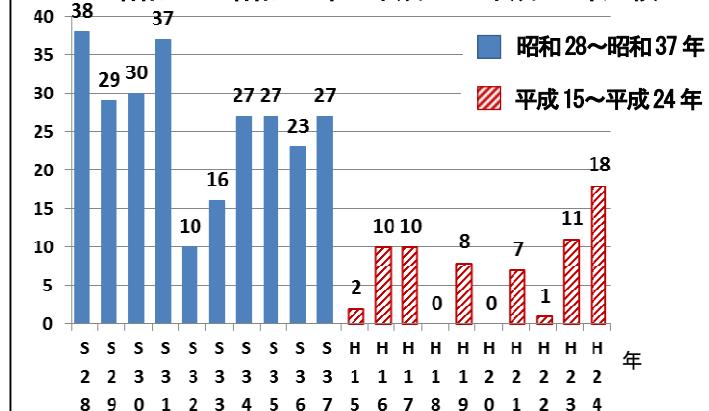
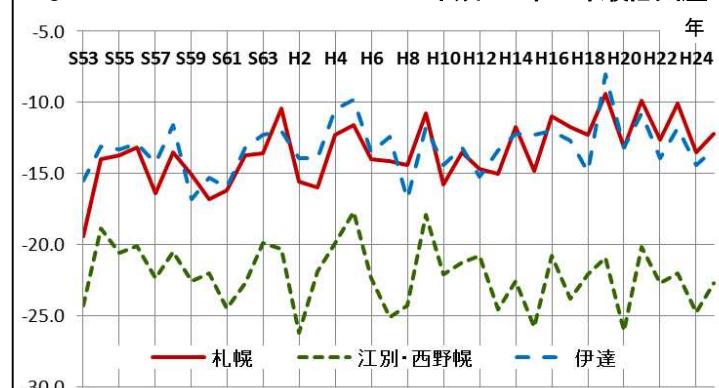


図3 札幌・江別・伊達の昭和53年  
~平成25年の年最低気温





## 3月～4月の催しのお知らせ



豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568 <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
<b>展示会</b>				
クリスマスローズ小展示	3月4日(火)～3月9日(日)		八紘学園	入場無料
ボタニカルアート展	3月18日(火)～3月30日(日)		さっぽろ植物画同好会	〃
<b>園芸教室・自然教室</b>				
果樹類の剪定と病害虫予防	3月13日(木)	13:30～	2/11(火祝)～	無料
果樹類の剪定と病害虫予防	3月16日(日)	〃	〃	〃
サボテンの春夏の管理	3月29日(土)	〃	3/11(火)～	〃
<b>連続講座</b>				
ボタニカルアート講座 全10回のカリキュラムで、基礎から ボタニカルアートを学べます。	4/25～9/26 (各金曜日・全10回)	10:00～	3/11(火)～	10回で12,000円 絵の具など道具代 別途かかります。
<b>無料体験会</b>				
ボタニカルアート無料体験会	3月21日(金)	10:00～	3/11(火)～	無料

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
<b>講習会・クラフト講習・実践講座！</b>				
新しいユリをつくる	3月9日(日)	13:30～	2/11(火祝)～	130円
洋ランの育て方	3月15日(土)	13:00～	〃	〃
ツバキの育て方	3月21日(金)	10:30～	3/11(火)～	〃
<b>展示会</b>				
アザレア展 →期間延長です！	2月18日(火)～3月9日(日)			130円
ツバキ展(椿と器の饗演)	2月25日(火)～3月23日(日)			〃
春の洋ラン展	3月11日(火)～3月16日(日)		北海道蘭友会	〃
<b>コンサート</b>				
ミモザコンサート	3月8日(土)	13:00～	直接会場へ	130円

### その他の公園

イベント 内容	日時	備考	問い合わせ・申込み先
「冬の外遊び」絵画展	2月23日(日)～3月31日(月)	ナイトハイク のみ要申 込:100円 他直接会場へ 別途駐車料金 体験により 有料	滝野すずらん 丘陵公園 592-3333
滝野ドキドキナイトハイク	3月15日(土)18:00～20:00		
森フェス 2014 winter	3月21日(金祝)11:00～19:30		
冬期営業終了 3月31日(月)	春OPEN！ 4月20日(日)		
サケたちのエサやり	3月8日, 15日, 22日(いずれも土)14:00～	直接会場へ	さけ科学館 582-7555
イトウのおなかにさわってみよう	3月29日(土) 14:00～		
西岡公園 自然調査報告展 ～子供たちの調査隊ヤンマ団 &魚組活動の記録～」	3月5日(水)～4月6日(日)	会場： さけ科学館 直接会場へ	さけ科学館 582-7555 西岡公園 582-0050
子りす工房～子どもの日 「かぶとをつくろう！」	3月16日(日) 10:00～、13:30～	要申込： 300円	西岡公園 582-0050